▶ 株式会社浅尾

令和元年度補正
事業類型／一般型（通常枠）

木製ブロック「ズレンガ」の生産能力拡大と品質向上による売上高拡大

非常に精密な加工を実現する「NC穴あけ専用機」

容量に余裕がある集塵機

表面加工用のモルダー

材料カット用パネルソー

当社は2010年に設立した木工の会社です。家業を継いだのはバブル崩壊直後で、その頃は山から木を切り出して材木にする製材業が主な事業でした。しかし、2000年を越えた頃から安い海外材が国内市場を席巻するようになり、本当に製材業が厳しくなりました。これからの時代は直接お客様とやりとりをする自社製品の製造と販売が必要だ、と考えるようになったのもこの頃です。ちょうど私たちが木材を届ける木工所の廃業が相次いだため、不要になった機械を譲り受ける形で木工製品を作るようになりました。しかし、家具や雑貨を作り始めたものの、事業としては非常に厳しい状況が続きました。

そんな中、転機が訪れます。市内の木材を使って、オリジナル企画のおもちゃを作るという長浜市の企画へ応募したのです。木育（もくいく）という言葉もある通り、木を通じて子ども達が成長するという考え方と、長浜市の担当者の熱意に可能性を感じて、本気で取り組むことにしました。それからは保育園通いが始まり、子ども達がどのようなときに楽しいと感じているのかを観察する日々が続きました。製品もなんとか形になり、無事コンペで選定されました。

次の転機は長浜商工会議所から東京インターナショナル・ギフト・ショーに出展しないかと依頼を受けたことです。最初に作ったおもちゃを私たちのブースを企画するコンサルタントに見せたところ、『単なる積み木でまったく面白くない。例えばブロックのようにお互いをつなげられないのか？』、というショックな言葉が返ってきました。しかし、そういわれたからには驚きのあるものが作りたいと思い、必死になって別の積み木を作りました。これがズレンガの原形で、その方にも非常に喜んで頂きました。

最初の作品は「子どもが集まるところに置くと面白そう」という理由で宮崎のレンタル会社に購入していただきました。保育園やイベント施設向けに市場があると感じたとともに、複雑な形状であるが故の製造面の課題を解決する必要が出てきたため、今回の補助事業を活用し新しい機械を導入しました。

Point
ものづくり補助金活用
ここがポイント！

木製ブロック・ズレンガは、6面すべてが接続可能なレンガ大のブロックです。六面体を連結棒で接続する構造で、温度や湿度変化による木材の収縮に関わらず、連結棒が程良い力で抜き差しできる精度の良さが自慢です。

今回の補助事業では、製造原価、生産能力、表面加工の3つの要素をレベルアップすることができました。設備導入前は生産に16工程75.5時間かかったのに対して、設備導入後は12工程43時間に短縮され、美しく安全な外観を実現しながら43％の製造時間削減を達成しました。

これにより、従来の月産2セットから、月産10セットまで生産能力が向上しただけではなく、1／8サイズで家庭でも購入ができるズレンガminiの生産も可能になりました。

Future
今後の展望

ズレンガは独創的な楽しみ方はもちろん、日本中の山林で使い道がなく困っている杉を有効活用する点も評価いただき、ウッドデザイン賞2020奨励賞（審査委員長賞）、日本おもちゃ大賞2023優秀賞（エデュケーショナル・トイ部門）を受賞しました。

子ども達が特に楽しんでくれるのが、ズレンガで大きな家を作るイベントです。子ども達自身がリーダーシップを発揮して、力を合わせて一つの作品を作り上げる経験には、唯一無二のものがあります。競合の木工製品には多種多様なものがありますが、保育教育学でいわれる健康、人間関係、環境、言葉、表現の5領域すべてに効果的にアプローチできるおもちゃとして、保育系の大学と連携した地道な価値づくりを進めていきます。

information

代表取締役
浅尾 年彦

日本の杉を世界へ！
小さなズレンガで大きな学びを実現します。

近年、世界的に木造建築への注目が高まっています。背景には二酸化炭素を貯める素材として木材の重要性が見直されている点があります。一方、山林の急峻さもあり、国産材の伐採や運搬には非常に労力がかかります。林業従事者が減り続けた結果、ウッドショックと呼ばれる状況であっても国産材の生産を増やすのは困難な状況です。かつて日本中に植林された杉の活用が行われない結果、全国の森で木の新陳代謝が進まず、生態系に悪影響を与えています。こういった社会的課題の解決の一翼を担いたいという想いで、杉の活用を進めてきました。

今後は東京おもちゃ美術館が開催する審査会である『グッド・トイ』へ応募し、優秀な成績を収めることで、知名度を更に上げたいと考えています。将来的には自治体ごとに地域の杉を活用してズレンガを作り、雪まつりのような『ズレンガまつり』を開催したいです。そして、木工のおもちゃといえば北欧という世界のイメージに、風穴を開けられるような存在になりたいと考えています。

株式会社浅尾

代表取締役／浅尾 年彦
従業員数／3人
資本金／700万円
設立年月／2010年9月
事業内容／木製家具、木製玩具類の製造販売
住所／滋賀県長浜市鳥羽上町783番地1
連絡先／TEL.0749-62-2419
FAX.0749-62-1099
代表E-mail／kigumi-info@iris.eonet.ne.jp

https://zurenga.com/